

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
オンライン読書会を開催しています。

★ テキスト・テーマ：

○ 「7年ごとに来る 夫婦危機」：黒川伊保子 東洋経済オンライン

○ 「結婚とは、一瞬が永遠に続くという妄想だ」：上野千鶴子

東洋経済オンライン

★ 参加者：7名 (女性4名、男性3名)

★ 参加者の感想

今回のテーマは、黒川氏と上野氏。スタンスの違うお二人から、「お連れ様と何とか添い遂げる」ためのヒントをいただきましょうというもの。開始までに資料をメールで送ってくださり、助かりました。



まず最初に黒川氏のテーマから。テーマを区切り、それについてのメンバーの意見。脳は7年ごとに危機がやってくる、振り返るとこういうことが順番に訪れてきたと思った。7年という区切りではなく、子供の成長、夫の多忙度などが影響するのでは・・・など。生物多様性の倫理にのっとって正反対の感性の持ち主にほれるという項では、夫と違う

ことで離婚を考えているクライアントに使えると思った、違うところもあるけど同じ景色を見て「きれいだね」と感じたりする、共有できることがたくさんあった方がいい。違いを見つけるよりも共通部分を探すようにすればよいなど。何事も準備が大事では、こう言ったらこう反応するだろうとわかるので、いつ言うか、(または言わないか)タイミングをみるとか、ユーモアも大事。家事初心者の夫に「こうして」と言うと、むっとされる。言い方とか、私の気持ちの納め方が大事。夫の「ぼうっと」では、毎朝の夫婦の風景が語られ、男性は女性と違ってすぐに臨戦状態にならないで、ぼうっと時間を楽しんでいる。ぼうっとしている時、男性は右脳と左脳の連携信号を断っているのです、3秒待つことが必要では、メンバーが次回までに実験しようということになった。長谷川先生いわく、黒川氏は古い世代の男性にやさしい人とのこと。

次のテーマは上野氏の「結婚と家族を語る」を読んで。

上野氏は高齢の独身女性に対する呼び名は以前は「嫁かず後家」「オールドミス」「負け犬」など、ひどいネーミングだったのを「おひとりさま」と呼びかえた。

メンバーからは、離婚の原因に男性の古い女性観があるのでは。男性と女性の違いを知るこ



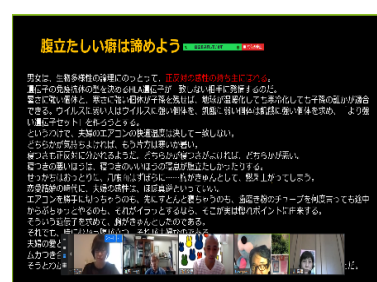
と必要。結婚生活の中でおひとりさまになるのは可能。自分の自由を制約されたくないというのはとても大切で、お互いが尊重しあえる関係になると良いなどの感想が出された。長谷川先生は、会を重ねることで、この会の目的のリマリッジが「家庭内離婚」にとどまらず、「親密なより添いあえる関係」の構築、再構築への強力な支援の方法と必要な法的保障・・・と拡がった。家族の中での個人をどう保つか、その方法として自己主張法が有効と話された。私は「カップルカウンセリング、阿佐ヶ谷(我々夫婦のスタート地)」という言葉にひかれ、今回で3回目の参加。初回時、フランス語での渋い詩の朗読が流れ、「えっ?婦人公論では・・・」と、目が点になりましたが、後日、その渋いお声が長谷川先生だったと知り、2度目の「えっ」。

やっとこの会が目指しているものが見えてきました。

今回参加して、テレビで上野氏が、「男性論が出てきてほしい」と言っていたのを、まさに!と思いました。

長谷川先生によると、男性は小さい時から「一人で立ち上がりなさい」と育てられるとか。なので弱音を吐くのが苦手なのか・・・とか思えるので、「男性による男性論」。どなたかぜひひげひ研究してください。

家族内、パートナーとの自己主張法(アサーション)はうまくやるためにとても有効なコミュニケーション法だと思います。結婚していてもしていなくてもそれぞれが精神的に「おひとりさま」になれる素敵な関係の構築のために、私も勉強させていただきます。



(家族相談士 辻中洋子)

<オンライン読書会はいかがでしょう?>



阿佐ヶ谷の洒落たお店でのお茶🍵は、しばらくおあずけですが、
長谷川理事長のご講義が画面から溢れてくるオンタイムのゼミナールもまた必見!
夫婦生活につまづいている方はもちろん? 円満な方やおひとりさまのお知恵も拝借しながら、おんなとおとこが添い遂げる工夫を、家族カウンセリングの視点から学び合しましょう。協会員なら、どなたでもこのオンライン読書会にご参加できます。

★次回は第30回 9月15日(水) 20:30 ZOOM開催です。

毎回 理事長ご提案のテーマで話し合います。

会員の皆さま、奮ってご参加くださいね!

<会員限定>

オンライン読書会（ZOOM）に参加ご希望の方は➡の
QRコードに（森友ラインあて）、お手持ちのスマホで
カメラをかざして繋いでください。



「参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会」グループラインに招待させていただきます。

- ★今後の阿佐ヶ谷のカフェでの読書会は本協会の対応に準じて開催していく予定です。
しばらくはオンラインを使って読書会を継続していきます。
何卒、ご理解、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。